

企画セッション

◆「知的財産大学院の現状と課題」◆

—これからの知的財産大学院に求められるものは何か—

【概要】

知的財産を主たるテーマとする大学院は国内外に存在するが、その教育・研究の内容は様々である。本セッションでは、まず知的財産大学院協議会（JAUIP）加盟校である知的財産大学院の現状と課題について報告を行う。とくに、それぞれの大学院による特色を生かした知的財産教育・研究の現状や、企業ニーズに対応した知的財産専門人材の育成への取り組みについて情報共有を行う。次に、米国・欧州における知的財産大学院の現状について報告を行う。これらを踏まえて、実社会において必要とされる高度で実践的な知財教育・研究のあり方について、実務家とともに議論を行い、これからの知的財産大学院に求められるものについて、検討を行う。

※知的財産大学院協議会（JAUIP）協力セッション

以上

企画セッション

◆「知的財産大学院の現状と課題」◆

—これからの知的財産大学院に求められるものは何か—

【パネリスト】

(大学教員)

日本大学大学院法学研究科教授 (知的財産大学院協議会会長)

加藤浩

大阪工業大学知的財産専門職大学院教授

杉浦淳

ワシントン大学ロースクール 教授 / 慶應義塾大学法科大学院 教授

竹中俊子

(大学教員兼進行役)

金沢工業大学 (K. I. T.) 虎ノ門大学院イノベーションマネジメント研究科 教授

加藤浩一郎

(実務家)

日本橋知的財産総合事務所 代表弁理士

加島広基

栗田工業株式会社 前知的財産部長

松本克美

株式会社ダン計画研究所 代表取締役

宮尾展子

※各五十音順

以 上